

.....
**おくちの
相談室**
.....

【問い】祖母の家に、歯科医院の人が月に数回来ているみたいです。治療しているような話ではないのですが、認知症の祖母に聞いてもよくわかりません。何をしているのでしょうか。

（長崎市、43歳男性）

【答え】「往診」や「訪問診療」といった言葉を聞いたことがあると思います。どちらも、歯科医師らが患者の自宅や施設などに出向き診療などを行うものですが、その二つには違いがあります。「往診」は歯が痛むなど突発的な歯科疾患の発症があったときに、患者やその家族らの要請を受け臨時的に行うものです。一方、「訪問診療」は事前に計画を立てて、定期的に訪問するものです。今回の事例は、おそらく「訪問診療」にあたるのではないのでしょうか。

定期的に歯科医院に通っている方が、精神・身体的な理由で通院が難しくなった場合に、歯科医師が定期的にご自宅などを

扇町歯科医院院長

（長崎市扇町）

回答者
まつもと ひろし
松本 浩志



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

訪問診療

計画的に口腔ケア提供

訪問して、口の中の状態を確認する訪問診療を受けることで、良好な口の環境を維持することができます。

訪問診療を必要とする人の中には、ご自身の口腔ケアが難しい方が多くいます。口腔内には常に多くの細菌が存在しており、歯垢や舌苔、義歯の汚れなどを放置すると、細菌の数が急増します。口腔ケアを怠ると、むし歯や歯周病になりやすくなるのはもちろんですが、これらの細菌が唾液と共に誤って肺に入り込むと、誤嚥性肺炎を引き起こす原因となり、特に高齢者や嚥下機能が低下した方はそのリスクが高くなります。

そのような方には、訪問歯科衛生指導や介護サービスである居宅療養管理指導（どちらが対象になるかは、介護保険の受給者かどうか、訪問先の形態などで決まります）により、歯科衛生士による訪問口腔ケアを定期的に行うことがあります。訪問口腔ケアでは、専門的な器具や技術を用いて、さまざまなリスクを軽減することが可能です。

以上は一般的な話です。実際にどのようなことを行っているかは、担当の歯科医院に確認してみてもいいでしょうか。